



細井 公議員
(白新会)

問 市街地における排水溝の整備を

市内の各所において、道路と排水溝に段差があったり、排水溝の蓋が整備されていないために歩行者の安全が確保されているとはいえない道路がある。安全な排水溝の整備をすることで市民の安全が確保されると考えるが、改修についての具体策を伺う。

答 状況に応じて対応していく

道路パトロールなどにより発見された道路の穴や段差の危険箇所について、軽微なものは速やかに補修するとともに、対応がむずかしい場合は補修工事により実施している。今後もパトロールを実施し、危険性など現地の状況に応じた対応に努める。

問 カーブミラーの管理は

市内各所に設置されているカーブミラーについて、車両の衝突によって角度が変わったり、経年劣化によってミラーが確認しにくくなったものが散見される。こうした視認性が低下したカーブミラーについて、市としてどのように対応しているか伺う。

答 早期発見に努め対応する

道路パトロールや通報などにより早期発見に努めている。軽微なものは、その場で対応している。また、老朽化や劣化および破損などによる場合は、専門業者により交換工事に対応している。



市内の道路



菱沼あゆ美議員
(公明党)

問 多様な人が参加できる防災を

防災訓練には子どもや学生が参加しにくい。ゲームや競技を取り入れてはどうか。また、障がい者も参加出来るよう実施すべきでは。障がい者や外国人との会話を助ける文字と絵を入れたコミュニケーション支援ボードを、避難所に配備してはどうか。

答 訓練内容や避難所の対応を見直していく

防災訓練の内容については毎年度見直しを図っており、今後も多様な方が参加しやすい訓練となるよう努める。避難所での障がい者や外国人の方とのコミュニケーションについては、他の自治体の事例を参考にしながら有効な方法を検討していく。

問 高次脳機能障がい者の支援は

高次脳機能障がいは、交通事故や病気で脳が損傷したことで起こる後遺障害である。さまざまな症状があるが、外見からは分かりにくい。市内には何名いるか。相談や支援体制はどうしているか。また、市民への周知や啓発が必要と考えるが、いかがか。

答 適切な支援や、周知・啓発に努める

高次脳機能障害と確認できた方は5名で、適宜状況に応じた各種福祉サービスの紹介や専門機関を紹介するなど、関係機関と連携しながら支援に努めている。今後、高次脳機能障害を含め、障がいの特性などの理解が深まるよう、機会をとらえて周知・啓発に努める。

